

平成25年4月19日

各 位

株式会社 三井住友銀行

早来工営株式会社の「SMB C環境配慮評価私募債eco バリュースアップ」
買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、早来工営株式会社（代表取締役社長：小松 稔明）の発行する「SMB C環境配慮評価私募債 eco バリュースアップ」を買受け致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じ社会的責任を最も効果的に果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価融資／私募債 eco バリュースアップ」は三井住友銀行独自の環境配慮評価基準で定量評価を行い、環境経営の実務に詳しい大手監査法人等に定性評価を委託することで、評価結果に応じた買受け条件の設定を行うとともに、評価結果の提供や、現状の分析、今後の改善余地、先進事例などをご提供する私募債です。

今回対象となった、早来工営株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、企業経営において非常に優良な環境配慮を実施されているとの評価となりました。

特に、①マニフェスト制度に先駆けた履歴管理方法の導入や、先進技術による高度処理技術導入など、経営と一体化した環境マネジメント体制を構築されている点、②環境負荷に対して自主基準を設定するなど、高いレベルでの環境負荷管理体制が構築されている点、③高効率照明ランプやLED照明の導入、節電意識の徹底による温室効果ガス排出削減への取組みを積極的に進められている点、④物流事業における環境マネジメントの一環として、ドライバーの意識向上に取り組まれている点などが高く評価されました。

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。



①札幌工場全景

廃熱を蒸気タービンの熱源として利用し電気代の削減、場内のロードヒーティングを実施



②ハウス

一般廃棄物の生ごみを利用した肥料を製造



③水処理施設

新排水処理設備に、LED照明を設置し、省エネを推進

以 上